

豪州でカーボンクレジット事業を行うエーアイカーボン社の株式取得について  
～ 原生林を再生し、CO<sub>2</sub>削減に貢献 ～

2022年6月9日  
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社(社長:藤原 正隆)の子会社である Osaka Gas Energy Oceania Pty Ltd(取締役:大塚 洋)は、豪州で原生林再生プロジェクトを通じたカーボンクレジットの獲得・販売事業を行う Australian Integrated Carbon Pty Ltd(以下「エーアイカーボン社」)の株式を 16.7%取得しました。

エーアイカーボン社は 2016 年より、原生林再生プロジェクト(農家の牧畜プロセス等の改善により、過去の伐採や過放牧によって消失した原生林を再生することで、大気中の CO<sub>2</sub> を吸収する手法)を通じて、豪州政府が公式に認証するカーボンクレジットを獲得・販売する事業を営んでいます。原生林再生プロジェクトは豪州政府の CO<sub>2</sub> 削減目標達成において重要な役割を担っており、エーアイカーボン社はプロジェクトの拡大を通じて、将来的に CO<sub>2</sub> を累計約 1 億トン削減することを目指しています。

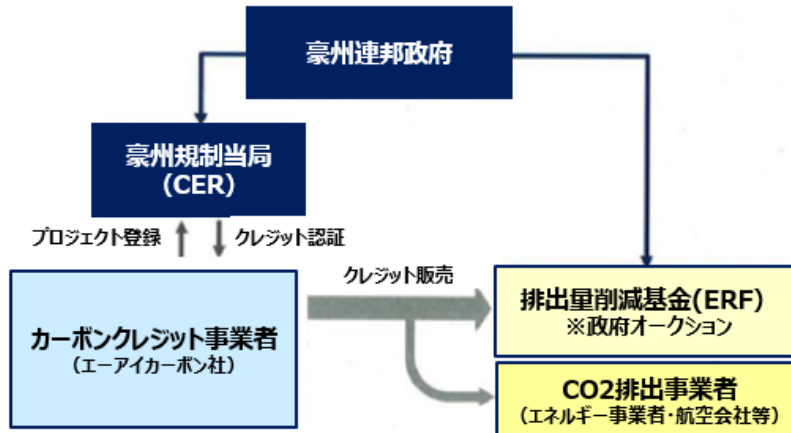
カーボンクレジットの需要が世界的に拡大している中、豪州政府は 2015 年以降合計 45.5 億豪ドルを拠出してカーボンクレジット買取制度を確立しており、これまでに多数の入札実績があります。豪州政府によるカーボンクレジット購入に加え、CO<sub>2</sub> 排出事業者がカーボンクレジットを購入する事例も増加しており、同国における 2021 年のカーボンクレジット供給量は年間約 1,700 万トンと世界有数の規模に達し、現在も増加を続けています。

当社は、豪州カーボンクレジット事業の先進的なノウハウを習得すると共に、低炭素社会の実現に貢献します。

Daigas グループは、2021 年 1 月に発表した「カーボンニュートラルビジョン」のもと、今後も脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組むと共に、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努めることを通じて地球規模の低・脱炭素化に貢献し、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

■ 豪州カーボンクレジットの概要

豪州カーボンクレジット (ACCUs) は、豪州規制当局 (CER) が、1 トンの CO<sub>2</sub> 削減に対し 1 ACCU を付与する制度。事業者は、CER から認証を受けた ACCUs を政府または CO<sub>2</sub> 排出事業者へ販売する。



■ 原生林再生手法のイメージ

原生林再生手法のイメージ図



過放牧の影響(家畜が草木を踏み倒す等)で原生林が消失



柵を設置する等、牧畜プロセスを改善し原生林を再生

■ (参考) エアーカーボン社の概要

会社名	Australian Integrated Carbon Pty Ltd (エアーカーボン社)
所在地	14A William Street, Raymond Terrace New South Wales, Australia, 2324
代表者	Adam Townley, Chief Executive Officer
設立	2016 年
事業概要	豪州におけるカーボンクレジット獲得・販売事業

三菱商事株式会社と日本郵船株式会社による合弁会社も、2021 年に同社に出資しています。

以上